

書くまえに...

① 書くことに対する意欲や経験について聞く。



書くのは好きですか。
 ○○語(母語)でも書いたことがありますか。
 今日は日本語でたくさん書きましょう。いいですか。がんばりましょう。

- ・好き/嫌いの理由やどんなものを書いたかなど、自然な流れでやりとりをし、リラックスして書くことに取り組めるようにする。

② 課題について話し合う。



今日は、「動物」について作文を書きましょう。
 好きな動物はなんですか。どうして好きか教えてください。

- ・特に好きな動物がなければ、(1) 学校にいる動物・触ったことのある動物
 (2) 好きな食べ物・好きな車などに変えても良い。



好きな○○のことを書きましょう。たくさん書いてください。いいですか。

③ 用紙の選択・用紙の使い方がわかっているかどうか確認する。



まず、紙を選びましょう。どの紙に書きますか。

- ・巻末資料の用紙から2, 3枚示して選ばせる。



どこに名前を書きますか。どこから書き始めますか。

- ・選んだ用紙の使い方を確認し、わからない場合は教える。



絵をかいてもいいですよ。

書きましょう...

① 書く様子を見守り、助けを求められたときはこたえる。

- ・なかなか書き出せないで困っている場合は、つぎのような対話(1または2)をして励ます。

(例) < 1. 課題について詳しく話し合う >



○○が好きなんですね。○○はどんな動物ですか。何色ですか。大きいですか。
 何をたべますか。どんなところにいますか。どこで見ましたか。

< 誘導・はげまし >



○○のことを、良く知っていますね。それを書いてください。

< 2. 子どもが描いた絵を手がかりにして話し合う >



先に絵を描いてみましょうか。
 (絵について) これは何をしているところですか。これは何ですか。

< 誘導・はげまし >



じゃあ今度は字を書いてみましょう。がんばってください。

書いたあとで...

① 作文を提出させ、ねぎらう。

😊 がんばってたくさん書きましたね。
では、見せてください。

② 書いた内容について話させる。

😊 では、書いたことを話してください。

- ・読み上げさせるのではなく子どもの頭の中に残っていることを話させる。
しっかりとあいづちをうち、肯定的に聞く。
わかりにくい点、情報不足と思われるところについて質問し追加情報を引き出す。
特に少ししか書けなかった場合はなるべくたくさん話させる。(★書き直させる必要はない)

③ 書いたときの姿勢や取り組み方について質問する。

😊 書くとき、一番考えたのはどこですか。
この作文の面白いところはどこですか。

- ・何も出なかったら→「×××というところが面白いと思いました。」のようにコメントする。

④ 振り返りを行う。

😊 よくがんばりましたね。〇〇さんは△△が好きなんですね。
とても上手に書けました。話も上手でした。良かったです。
これで終わりです。

- ・子どもが達成感を持って終われるようにほめる。

😊 書くのは大変でしたか？楽しかったですか？

😊 今日の作文、とても上手でしたね。これからもたくさん書きましょね。

メモ:

この課題は、書くことに慣れていない子どもを想定している。絵を手掛かりに書く内容をいっしょに探し、文字にしていく活動が主となる。この時、書くことを先回りして言ってしまう、子どもの口から出たことを受け止め、書くことがまとまるように仕向けるとよい。
1年生が対象の場合、時間設定の必要性は低い。DLA〈話す〉や〈読む〉とセットで実施する場合など、書いたあとの対話時間が確保できるように配慮する。